

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61100 物産宣伝推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
						款	6	商工費			ポイント						
						項	1	商工費		分野別	政策分野	5			産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 暮らしの糧となる新しい「なりわい」を創出します
						目	1	商工振興費		施策分野	(2)	商業・工業					
担当課	商工労働部 商工振興課			内線	2213												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の特産品の販路拡大や市内商工業の振興を図る。	概要	・高山市産業振興協会が実施する飛騨高山展等への補助金の交付 ・新作土産品及び推奨土産品の審査・公表、推奨土産品登録証紙によるPR等の実施
----	---------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績 (R3)	R6実績 (R4)	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	955億円	705億円	617億円
第3次産業の市内総生産額(年間)	2,297億円	2,331億円	2,540億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		11,326	10,906	13,856	16,856	14,479	3,573
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		11,326	10,906	13,856	16,856	14,479	3,573
新規・拡充	主な事業内容						
	飛騨高山展の開催に対する助成	6,000	6,000	5,000	8,000	8,000	2,000
	土産品振興奨励制度の推進	450	105	390	390	260	155
	産業振興協会の活動支援	360	360	360	360	360	0
	高山市産業振興協会の組織強化に対する助成	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	16,130
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
16,130	16,130	16,130	2,274
16,130	16,130	16,130	2,274
査定額	説明		
8,000			
390			
360			
3,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・京阪百貨店森口店において飛騨高山展を開催(令和5年4月) ・京王百貨店新宿店において飛騨高山展を開催(令和5年5月) ・岐阜高島屋において飛騨高山展を開催(令和6年3月) ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 推奨土産品の登録(新規13点、継続50点)
評価等	・関東、近畿、中部圏での飛騨高山展開催や各種イベントに参加するなど地域産品の販路拡大につなげた。 ・EC市場の拡大が進んでいる中、飛騨高山ブランドの認知拡大と販売促進を図るため、高山市産業振興協会によるオンラインショップのサイト改修を行い、サイトの魅力や利便性の向上を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	・物産展開催にあたっては、顧客ニーズの多様化なども踏まえ、新商品の開発の取組等も促進しながら、より効果的な物販・宣伝に向けて取り組む必要がある。 ・市内で開発・生産される土産品は市のブランドイメージを構成する重要な要素であることから、次年度以降も事業を継続する。 ・高山市産業振興協会の組織強化に向け、ECサイトの更なる活用促進のための取り組みを進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・京王百貨店新宿店において飛騨高山展を開催(令和6年4月) ・名鉄百貨店において飛騨高山展を開催(令和7年3月) ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品審査会の結果(優秀賞2点、奨励賞2点) 推奨土産品の登録(新規10点、継続51点)
評価等	・関東、中部圏での飛騨高山展開催や各種イベントに参加するなど地域産品の販路拡大につなげた。 ・飛騨高山ブランドの認知拡大と販売促進を行うため、高山市産業振興協会によるオンラインショップのサイトの魅力、認知度の向上に向けた取り組みを進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	・物産展開催にあたっては、顧客ニーズの多様化なども踏まえ、新商品の開発の取組等も促進しながら、より効果的な物販・宣伝に向けて取り組む必要がある。 ・市内で開発・生産される土産品は市のブランドイメージを構成する重要な要素であることから、次年度以降も事業を継続する。 ・高山市産業振興協会の組織強化に向け、ECサイトの更なる活用促進のための取り組みを進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山展開催に必要な経費を計上 ・土産品の推進に必要な経費を計上 ・高山市産業振興協会が行う活動等に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61105 伝統的工芸品産業等振興事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画					
					款	6	商工費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり							
					担当課	商工労働部 商工振興課	内線		2213	項	1	商工費	分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 暮らしの糧となる新しい「なりわい」を創出します	
										目	1	商工振興費		施策分野	(2)	商業・工業			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝統的工芸品産業等の伝統技術を守り伝えていくとともに振興を図り、市内産業全体の活性化を図る。	概要	・伝統的工芸品産業等の後継者育成に対する助成 ・飛騨伝統的工芸品産業振興協議会に対して負担金を交付 ・飛騨春慶連合協同組合及び飛騨一位一刀彫協同組合が行う事業に対して補助金を交付、原材料の共同購入資金を貸付 ・飛騨高山の名匠の認定制度の運用
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	37.7%	41.6%	♪

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		50,215	33,493	36,535	36,635	34,212	719
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、貸付金元金 等)	25,000	25,000	13,800	13,800	13,800	△ 11,200
一般財源		25,215	8,493	22,735	22,835	20,412	11,919
新規・拡充	主な事業内容						
	飛騨高山の名匠認定の推進	550	411	638	638	385	△ 26
	伝統的工芸品産業・伝統建築の後継者育成に対する助成	18,720	11,490	18,720	18,720	17,950	6,460
	原材料共同購入資金の貸付	24,000	21,000	13,800	13,800	13,800	△ 7,200
	伝統的工芸品産業団体等の活動支援	720	403	900	900	295	△ 108
○ 1	飛騨産漆生産に向けた取組み			1,900	1,900	1,192	1,192

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・飛騨高山の名匠認定 13名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 1事業所1人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 12事業所13人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品の開催(令和5年11月) ・伝統的工芸品等高付加価値化事業 0件
評価等	・伝統的工芸品産業等の後継者育成事業補助金は、伝統建築産業で新たに3名を補助対象とし、後継者の確保につながるよう取り組んでいる。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、より幅広い技能者を認定できるように制度の見直しを図った。今後も本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、後継者育成事業補助制度の運用による後継者の確保や、飛騨高山の名匠認定制度による高度な技術を有する職人のPRと後継者の育成、伝統的工芸品展開催による製品の認知度向上を図る。 ・全国的に国内産漆の確保が難しい状況となっており、市内の関係団体等と連携した飛騨産漆の生成に取り組む必要がある。 ・伝統的工芸品等高付加価値化事業については、国に類似する制度が創設されたため廃止する。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・飛騨高山の名匠認定 10名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 1事業所1人 ・伝統的工芸品由来産業技術修得研修者(後継者育成事業) 2事業所2人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 12事業所15人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品の開催(令和6年11月) ・飛騨漆の森プロジェクトによる漆山育成事業への支援(補助金) ・市有林(漆山)の除伐による漆育成環境の整備(2回)
評価等	・伝統的工芸品産業等の後継者育成事業補助金は、新たに伝統建築産業で2事業所5名、伝統的工芸品由来産業で2事業所2名を補助対象とし、後継者の確保につながるよう取り組んでいる。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、より幅広い技能者を認定できるように制度の見直しを図った。今後も本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。 ・飛騨産漆の確保および活用に向け飛騨春慶連合協同組合と民間事業者が主体的に連携して取り組む「飛騨漆の森プロジェクト」との連携した取り組みを促進した。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、後継者育成事業補助制度の運用による後継者の確保や、飛騨高山の名匠認定制度による高度な技術を有する職人のPRと後継者の育成、伝統的工芸品展開催による製品の認知度向上を図る。 ・全国的に国内産漆の確保が難しい状況となっており、市内の関係団体等と連携した飛騨産漆の生成に取り組む必要がある。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	38,505
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
38,505	38,505	38,505	1,970
10,800	10,800	11,800	△ 2,000
27,705	27,705	26,705	3,970
査定額	説明		
660			
23,670			
10,800			
1,400			
1,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山の名匠認定に必要な経費を計上 ・後継者育成事業の推進に必要な経費を計上 ・伝統的工芸品産業団体等が行う活動に対する支援に必要な経費を計上 ・飛騨産漆の生産の推進に必要な経費を計上 ・伝統的工芸品産業の後継者育成に対する助成の拡充に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

28_商工振興課.xlsx_3

事業名	61105伝統的工芸品産業等振興事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工振興課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	6	商工費		
枝番・内容	1飛騨産漆生産に向けた取組み		☐ その他重要事業			項	1	商工費	内線	2213
			☐			目	1	商工振興費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝統的工芸品産業等の伝統技術を守り伝えていくとともに振興を図り、市内産業全体の活性化を図る。	概要	・飛騨漆の森プロジェクトの事業に対する助成を実施 ・漆山(市有林)の除伐を実施
----	---	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	1,900
主な経費	・補助金	
	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		1,900

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	1,900
	繰越	
	補正等	
	最終	1,900
決算額		1,192
対前年度増減額(決算)		1,192

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,900
主な経費	・補助金	
	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] 補助金交付額 103,000円 [評価等] 漆の苗木づくりや植栽、植栽地の維持管理活動を行うだけでなく、市内外からの参加者を集い、共同作業を実施することで、活動の周知・普及を図っている。 植栽地については、赤保木植栽地、上切植栽地に加え、新たに丹生川森部を開拓し、計3か所となっている(目標10～15か所) 各植栽地においては、植樹祭や、漆桶製作ワークショップを通じて、漆を身近に感じるとともに、漆文化についての理解を深めてもらうことに寄与している。 [事業実績] 市有林維持管理業務委託(除伐作業) 年2回実施		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善
		☐ 拡大
		☐ 縮小
		☐ 廃止検討
		☐ R5完了
		☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 目的:飛騨春慶や祭屋台、神社仏閣など、漆を必要とする工芸品や文化財を多く抱える本市にとって地場産漆の生産は必要不可欠である。 また、日本の文化財の多くが国産漆の使用を義務付けられている中で、不足(2,200t必要なところ1,766tが国産)している現状から、飛騨漆の森プロジェクトを支援し、地場産漆の生産を目指す。 補助対象:プロジェクトが実施する各種事業 補助限度額:500千円 補助率:補助対象経費の1/2 市有林の除伐委託料:1,400千円	
[スケジュール] 4月～ 周知・申請受付開始 7月頃 漆山除伐の実施	

事業実績、評価等		
[事業実績] 補助金交付額 103,000円		
[評価等] 漆の苗木づくりや植栽、植栽地の維持管理活動を行うだけでなく、市内外からの参加者を集い、共同作業を実施することで、活動の周知・普及を図っている。 植栽地については、赤保木植栽地、上切植栽地に加え、新たに丹生川森部を開拓し、計3か所となっている(目標10～15か所) 各植栽地においては、植樹祭や、漆桶製作ワークショップを通じて、漆を身近に感じるとともに、漆文化についての理解を深めてもらうことに寄与している。		
[事業実績] 市有林維持管理業務委託(除伐作業) 年2回実施		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・漆山(市有林)の管理や飛騨漆の森プロジェクトへの支援により、飛騨産漆を確保し、失われつつある漆文化を復興し継続的な伝承を図る必要がある。	☒ 維持・改善
		☐ 拡大
		☐ 縮小
		☐ 廃止検討
		☐ R6完了
		☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 補助対象:プロジェクトが実施する各種事業 補助限度額:500千円 補助率:補助対象経費の1/2 市有林の除伐委託料:1,400千円	
[スケジュール] 4月～ 周知・申請受付開始 7月 漆山除伐の実施	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61110 商工会議所等助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	6	商工費			ポイント				
						項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
						目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		
担当課	商工労働部 商工振興課			内線	2213										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市内の事業者への経営指導、経営相談により、市内の商工業の振興を図る。	概要	・高山商工会議所の事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の事業費に対する助成 ・商工会の事業費に対する助成
----	---------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績 (R3)	R6実績 (R4)	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	955億円	705億円	617億円
第2次産業の事業所数	1,153件	1,153件	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	2,297億円	2,331億円	2,540億円
第3次産業の事業所数	4,841件	4,841件	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		29,080	25,182	28,590	30,212	27,664	2,482
特定財源	国費 ()						
	県費 (県委譲事務交付金)	102	130	130	130	102	△ 28
	その他 ()						
一般財源		28,978	25,052	28,460	30,082	27,562	2,510
新規・拡充	主な事業内容						
	商工会議所の活動支援	1,700	877	1,700	1,700	1,159	282
	商工会議所の相談事業に対する助成	3,880	3,875	3,920	3,920	3,918	43
	商工会の活動支援	23,500	20,430	22,970	24,592	22,587	2,157

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・高山商工会議所の事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援産業を継続する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・高山商工会議所の事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援産業を継続する。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	30,410
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
30,410	30,410	30,410	1,820
130	102	102	△ 28
30,280	30,308	30,308	1,848
査定額	説明		
1,700			
4,110			
24,600			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・高山商工会議所が行う商工振興対策事業及び中小企業相談所に必要な経費を計上 ・高山西・南・北商工会が行う経営改善普及事業に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61130 地場産業振興事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
						款	6	商工費			ポイント			
						項	1	商工費		分野別	政策分野	5	市長公約	産業・労働・プロモーション
						目	1	商工振興費			施策分野	(2)		
担当課	商工労働部 商工振興課			内線	2213									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨地域における地場産業振興および地場産業の健全な育成、発展を図る。	概要	・一般財団法人飛騨地域地場産業振興センターの管理運営に要する経費及び下記事業に対する助成 地場産業総合振興事業費 地場産業活性化対策事業費 地場産業振興事業推進費
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	37.7%	41.6%	♪

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		23,157	23,133	23,174	23,174	23,149	16
特定財源	国費 ()						
	県費 (地場産業活性化対策事業費1/2、地場産業振興事業推進費1/2)	4,236	4,236	4,236	4,236	4,236	0
	その他 ()						
一般財源		18,921	18,897	18,938	18,938	18,913	16
新規・拡充	主な事業内容						
	地場産業振興センターの活動支援	23,157	23,133	23,174	23,174	23,149	16

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・飛騨・暮らしの工芸品展示会事業として、事業者5社と地場産品PRのための展示会を実施(R6年2月 兵庫県神戸市) ・伝統的工芸品等のPRのための展示会を市内で開催(R5年11月 飛騨高山まちの博物館) ・地場産品普及開拓事業として、事業者6社と伝統工芸青山スクエアに出展(R5年12月 東京都港区) ・飛騨地域の優れたものづくりをPRするため、地場産センター1階において企画展を開催(3回) ・地域人材確保・養成事業として、ものづくり技能向上研修を実施(R5年8-12月) ・飛騨の味まつりを春・秋2回にわたり開催(1回目：R5年6月、2回目：R5年9月) ・伝統工芸の後継者を育成するためのインターンシップ事業を実施(応募者の中から研修生1名を決定) ・上記事業実施のため、地場産業振興センターの運営等に対し助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する地場産品展示・普及事業や地域人材確保・養成事業、地場産業活性化対策事業、地場産業販路開拓事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・地場産業の育成・発展のための基幹的な役割を担っている飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策は必要不可欠であるため、今後も当該制度を継続する。 ・飛騨地域地場産業振興センターのあり方や事業の方向性等については関係機関との協議を継続する。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・飛騨・暮らしの工芸品展示会事業として、事業者7社と地場産品PRのための展示会を実施(R7年2月 兵庫県神戸市) ・伝統的工芸品等のPRのための展示会を市内で開催(R6年11月 飛騨高山まちの博物館) ・地場産品普及開拓事業として、事業者6社と伝統工芸青山スクエアに出展(R6年12月 東京都港区) ・飛騨地域の優れたものづくりをPRするため、地場産センター1階において企画展を開催(3回) ・地域人材確保・養成事業として、ものづくり技能向上研修を実施(R6年8-R7年1月) ・飛騨の味まつりを春・秋2回にわたり開催(1回目：R6年6月、2回目：R6年10月) ・伝統工芸の後継者を育成するためのインターンシップ事業を実施(応募者50名の中から研修生1名を決定) ・上記事業実施のため、地場産業振興センターの運営等に対し助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する地場産品展示・普及事業や地域人材確保・養成事業、地場産業活性化対策事業、地場産業販路開拓事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・地場産業の育成・発展のための基幹的な役割を担っている飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策は必要不可欠であるため、今後も当該制度を継続する。 ・飛騨地域地場産業振興センターのあり方や事業の方向性等については関係機関との協議を継続する。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	23,673
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
23,173	23,673	23,673	499
4,236	4,236	4,236	0
18,937	19,437	19,437	499
査定額	説明		
23,673	21550ブランド推進事業費より移行(500)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨地域地場産業振興センターの施設管理事業に対する支援に必要な経費を計上 ・飛騨地域地場産業振興センターが行う産業振興策に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・21550ブランド推進事業費より地場産業販路開拓事業補助金を移行
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61145 中小企業融資事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
					款	6	商工費			ポイント						
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5			産業・労働・プロモーション	市長公約	
					目	1	商工振興費			施策分野	(2)			商業・工業		
担当課	商工労働部 商工振興課		内線	2213												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内中小企業の経営の安定を図る。	概要	・中小企業融資及び利子・保証料補給の実施 ・状況の悪化している事業者への利子・保証料補給の実施
----	-------------------	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,078,672	797,573	1,022,901	1,003,938	841,605	44,032
特定財源	国費 (資金繰り支援事業費 10/10)						
	県費 ()						
	その他(預託金元金)	717,300	472,000	710,000	710,000	556,200	84,200
一般財源		361,372	325,573	312,901	293,938	285,405	△ 40,168
新規・拡充	主な事業内容						
	県融資制度に対する助成金	32,800	42,787	58,000	58,000	68,577	25,790
	小口融資	343,003	262,236	360,500	351,870	291,047	28,811
	経営安定特別資金融資	432,300	235,458	402,900	396,078	308,574	73,116
	小規模事業者経営改善資金融資制度に対する助成	1,500	315	900	900	352	37
	新型コロナウイルス対策融資に対する助成	232,000	243,174	188,500	185,080	162,563	△ 80,611
	原油価格・物価高騰等対策資金融資に対する助成	37,000	13,584	12,000	12,000	10,484	△ 3,100

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・市制度融資の借入に対する支援 利子補給 370件 保証料補給 192件 ・県制度融資の借入に対する支援 利子補給 401件 ・日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 27件 ・新型コロナウイルス対策 利子補給 1,739件 保証料補給 59件 ・原油価格・物価高騰等対策 利子補給 73件
評価等	・市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 ・新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、市内事業者の事業継続の支援を行った。 ・原油価格の上昇および物価高騰等により影響を受けた事業者が経営安定のために融資を受けた資金について利子補給による支援を行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	・引き続き、各種融資制度の借入に対する利子・保証料補給を行い、中小企業者の経営支援を実施する。 ・新型コロナウイルス感染症への対応として、過年度実行分の新型コロナウイルス対策融資への利子補給を継続するとともに、条件変更時の追加保証料補給制度や伴走支援型特別保証制度への利子補給を実施する。 ・県制度原油価格・物価高騰等対策資金を利用した事業者に対して引き続き利子補給を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・市制度融資の借入に対する支援 利子補給 502件 保証料補給 258件 ・県制度融資の借入に対する支援 利子補給 723件 ・日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 30件 ・新型コロナウイルス対策 利子補給 875件 保証料補給 46件 ・原油価格・物価高騰等対策 利子補給 67件
評価等	・市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 ・新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、市内事業者の事業継続の支援を行った。 ・原油価格の上昇および物価高騰等により影響を受けた事業者が経営安定のために融資を受けた資金について利子補給による支援を行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	・引き続き、各種融資制度の借入に対する利子・保証料補給を行い、中小企業者の経営支援を実施する。 ・新型コロナウイルス感染症への対応として、過年度実行分の伴走支援型特別保証制度への利子補給を継続するとともに、条件変更時の追加保証料補給制度を実施する。 ・県制度原油価格・物価高騰等対策資金を利用した事業者に対して引き続き利子補給を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

総合計画等 主な指標	R5実績 (R3)	R6実績 (R4)	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	955億円	705億円	617億円
第3次産業の市内総生産額(年間)	2,297億円	2,331億円	2,540億円

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	961,801
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
961,801	961,801	961,801	△ 61,100
760,000	760,000	760,000	50,000
201,801	201,801	201,801	△ 111,100
査定額	説明		
50,000			
395,600			
419,300			
600			
90,200			
6,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課	・経営安定を図るための利子・保証料補給に必要な経費を計上 ・新型コロナウイルス対策融資の条件変更時の保証料補給に必要な経費を計上 予算要求ポイント ・新型コロナウイルス対策及び原油価格・物価高騰等対策資金融資の利子補給(債務負担)に必要な経費を計上 ・県融資制度に対する助成金(利子補給)の補助率を10/10から1/2に見直し
-----	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61155 道の駅等管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	6	商工費			ポイント				
						項	1	商工費			政策分野	5			産業・労働・プロモーション
						目	1	商工振興費			分野別 施策分野	(2)			商業・工業
担当課	商工労働部 商工振興課		内線	2213	市長公約 強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市の恵まれた自然、歴史、文化資源を生かし、都市との交流及び観光客の誘致並びに地域特産品の生産・販売により、地域の活性化を目指す。	概要	・「道の駅」機能による地域情報の発信と、「付帯施設」における特産品や地元野菜の販売等 ・清見地域で活動しているクラフト作家の作品の常設展示即売や各種イベント会場、地域の集会所としての貸館等
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		87,044	83,491	78,492	91,472	84,776	1,285
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(指定管理事業雑入(道の駅)、地方債 等)	18,298	18,064	20,472	20,472	19,078	1,014
一般財源		68,746	65,427	58,020	71,000	65,698	271
新規・拡充	主な事業内容						
	道の駅等の運営	75,244	72,705	78,492	91,472	84,776	12,071
	道の駅の大規模改修	11,734	10,720				△ 10,720

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	73,662
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
70,870	73,662	73,662	△ 4,830
15,572	18,672	18,672	△ 1,800
55,298	54,990	54,990	△ 3,030
査定額	説明		
73,662			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・道の駅8駅を施設管理委託 ・道の駅付帯施設6施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 ・施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新 ・地域振興策として実施する飛騨街道なぎさの改修にかかる設計
評価等	・地域の特産品の販売拠点として地場産業振興に寄与している。 ・一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、引き続き今後のあり方を検討していく必要がある。 ・飛騨街道なぎさの敷地内にある擁壁の沈下が判明したため、沈下状況を把握するための調査を実施し、調査結果を踏まえ、今後の対策を検討する必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設もないことから、今後も運営を継続していく。 ・施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 ・地域振興策として道の駅付帯施設飛騨街道なぎさを改修するとともに関係団体と連携しながら販売力強化に向けて検討していく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・道の駅8駅を施設管理委託 ・道の駅付帯施設6施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 ・施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新 ・道の駅飛騨街道なぎさ地盤沈下にもなう地質調査業務委託
評価等	・地域の特産品の販売拠点として地場産業振興に寄与している。 ・一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、引き続き今後のあり方を検討していく必要がある。 ・飛騨街道なぎさ擁壁補強工事設計において必要となる敷地地盤の地質データ収集・分析のための調査を実施し、長期的に安全性を確保するための方策を決定することができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設もないことから、今後も運営を継続していく。 ・施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 ・飛騨街道なぎさについては、地盤沈下に伴う地質調査の結果を基に、地盤沈下対策として、擁壁補強工事を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・施設の管理、老朽化による修繕、備品の更新に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61160 商工関係団体支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり		
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション		
					目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		
担当課	商工労働部 商工振興課		内線	2213										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済を支える中小企業をはじめ、産業団体や地場産業等の振興を図る。	概要	・飛騨木工連合会の事業に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等に対する助成 ・産業団体等が行う自らの経済活動の維持と市内産業の活性化を図る事業に対する助成
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(R3) 955億円	(R4) 705億円	617億円
第3次産業の市内総生産額(年間)	(R3) 2,297億円	(R4) 2,331億円	2,540億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		34,283	19,302	1,240	1,240	767	△ 18,535
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		34,283	19,302	1,240	1,240	767	△ 18,535
新規・拡充	主な事業内容						
	各種団体等の活動支援	700	138	700	700	356	218
	中小企業生産性革命推進事業補助金	33,009	18,633				△ 18,633

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	10,730
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,330	10,730	10,730	9,490
1,330	10,730	10,730	9,490
査定額	説明		
10,100	21550ブランド推進事業費より移行(9,400)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・発明くふう展の開催等に関する経費に対する助成 ・中小企業生産性革命推進事業補助金による経営革新等の取り組みに対する助成 8件
評価等	・各種商工関係団体の取り組み支援を通じて市内産業の振興に寄与することができた。 ・中小企業生産性革命推進事業補助金の継続実施により、コロナ禍における経営革新等の促進に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・補助金の効果検証を行い制度の見直しを行うとともに、引き続き関連団体との連携を一層強化して商工振興施策を推進する。 ・中小企業生産性革命推進事業補助金については、令和3年度までに国や県の事業採択が得られた事業を支援対象とし支援を行ってきたが、対象となる事業が令和5年度で全て完了したため廃止する。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・発明くふう展の開催等に関する経費に対する助成 ・各種商工団体への負担金および補助金の交付
評価等	・各種商工関係団体の取り組み支援を通じて市内産業の振興に寄与することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・補助金の効果検証を行い制度の見直しを行うとともに、引き続き関連団体との連携を一層強化して商工振興施策を推進する。 ・地場産業販路開拓事業補助金を活用した「飛騨の家具フェスティバル」「飛騨のクラフト展」開催への支援を行う。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市内の各種団体が自主的に実施する事業に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・21550ブランド推進事業費より地場産業販路開拓事業補助金を移行
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61165 地域経済戦略事業費					予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
							款	6	商工費			ポイント				
							項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
							目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		
担当課	商工労働部	商工振興課、雇用・産業創出課	内線	2213												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済のヒト、モノ、カネの流れを客観的に把握し、産業構造など地域の特性や強みを活かした施策の実現につなげる。	概要	・産業連関表の分析結果などを活用した新たな産業施策の立案及び課題解決のための調査研究の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
雇用者1人あたりの雇用者報酬(年間)	(R3) 4,006千円	(R4) 4,115千円	4,300千円
就業者1人あたりの市内総生産額	(R3) 6,660千円	(R3) 6,302千円	7,800千円
市際収支	(R2) ▲135億円	-	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		16,098	14,482	430	430	126	△ 14,356
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	13,000	13,000				△ 13,000
一般財源		3,098	1,482	430	430	126	△ 1,356
新規・拡充	主な事業内容						
	地域経済懇談会の設置・運営	2,678	1,289	430	430	126	△ 1,163
	新商品の開発等に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	1,930
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,933	1,930	1,930	1,500
1,933	1,930	1,930	1,500
査定額	説明		
1,830			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・経済政策アドバイザーによる助言のもと、宿泊単価向上、市際収支改善等をテーマに地域経済懇談会を開催。 ・地域経済の現状と課題を把握するため地域経済構造分析を実施。 ・本市産業・経済の課題把握と施策検討を行うため市内流通実態調査を実施。 ・外部講師を招請し、兼業・副業をテーマに事例紹介や意見交換会を行った。
評価等	・地域経済懇談会については、宿泊単価向上や市際収支改善等をテーマに市内事業者と意見交換を行い、課題を整理したほか、兼業・副業に関するセミナーを開催し、人材不足に対する取り組みの促進を図った。 ・高山市産業連関表の更新や市外への資金流出の要因等の分析を行い、産業振興施策の方向性について整理した。
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☒ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・本市産業・経済の課題把握と施策検討を行うため、市内流通実態調査の調査結果や懇談会での提言を「高山市産業振興計画」に反映した。 ・地域経済懇談会のあり方を見直し、アドバイザーは委嘱せず、課題等が生じるなど必要と判断した際に開催することとした。(1回)
評価等	・産業連関表の作成や地域経済懇談会等の結果を活かしながら、官民連携による施策の推進に取り組むとともに、令和7年度から5年間を計画期間とする「高山市産業振興計画」を策定したことで、今後の施策の方向性などを市民、事業者と共有することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・新商品開発等の推進に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業名	61167 中小企業新技術導入事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	6	商工費			ポイント					
						項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します	
						目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業			
担当課	商工労働部 商工振興課			内線	2213											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・中小企業の新技術・新生産方式の導入を促進し、商品・サービスの高付加価値化や生産性の向上を図る	概要	・市内事業者のデジタル技術活用による生産性向上に資する取り組みへの助成
----	---	----	-------------------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		7,991	7,991	8,000	8,360	8,360	369
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	3,000	5,000	4,000	4,000	4,000	△ 1,000
一般財源		4,991	2,991	4,000	4,360	4,360	1,369
新規・拡充	主な事業内容						
	中小企業における新技術導入への支援	7,991	7,991	8,000	8,360	8,360	369

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・デジタル技術を活用し、生産性を向上させる取り組み等を実施する市内事業者に対する助成(38件)
評価等	・デジタル技術活用促進支援事業補助金の実施により、市内事業者のデジタル技術の活用促進に寄与した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・デジタル技術の活用による、市内事業者の生産性向上、人手不足への対応、働き方改革への取り組みを一層促進するため、次年度以降についても補助を継続する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・デジタル技術を活用し、生産性を向上させる取り組み等を実施する市内事業者に対する助成(39件)
評価等	・デジタル技術活用促進支援事業補助金の実施により、市内事業者のデジタル技術の活用促進に寄与し、生産性向上、人手不足への対応、働き方改革の推進につながった。
次年度以降の考え方 (担当課)	・デジタル技術の活用による、市内事業者の生産性向上、人手不足への対応、働き方改革への取り組みを一層促進するため、次年度以降についても補助を継続する。 ・機器購入に対する補助要件を緩和し、補助制度の活用を促進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
9,000	9,000	9,000	1,000
			△ 4,000
9,000	9,000	9,000	5,000
査定額	説明		
9,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・市内事業者のデジタル技術の活用を促進する補助制度に必要な経費を計上 ・中小企業における新技術導入への支援の拡充に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	61180 事業承継支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり		
					項	1	商工費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション		
					目	1	商工振興費			施策分野	(2)	商業・工業		
担当課	商工観光部 商工振興課		内線	2213	市長公約									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・円滑な事業承継を推進することにより、市内事業者の有する技術や販路、ブランド力などの次代への継承を図る。	概要	・事業承継のための融資に係る利子・保証料の補給及び事業者情報の公開等により、市内事業者の円滑な事業承継及び事業承継を契機とした経営基盤の強化を支援
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績 (R3)	R6実績 (R4)	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	955億円	705億円	617億円
第3次産業の市内総生産額(年間)	2,297億円	2,331億円	2,540億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		9,677	9,677	8,380	8,440	8,438
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	3,000	5,000	5,000	5,000	5,000
一般財源		6,677	4,677	3,380	3,440	3,438
新規・拡充	主な事業内容					
	事業承継関連制度融資等の借入れに対する助成	9,197	9,197	7,900	7,960	7,958
	事業承継マッチングサイトの活用	480	480	480	480	480

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・事業承継推進委員会を開催し、事業承継における課題等の情報共有及び意見交換を行った。 ・事業承継関連融資に係る利子・保証料の補給を行った。(保証料補給7件、利子補給16件) ・事業承継のインターネットマッチングプラットフォームに事業の承継を検討している事業所を掲載し、マッチングに努めた。
評価等	・事業承継関連融資に係る助成制度を運用することで、市内事業者の円滑な事業承継に寄与した。 ・マッチングプラットフォームを活用することで、市内事業者の事業承継を支援した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・円滑な事業承継を支援するため、引き続き事業承継関連融資に利子・保証料補給制度を運用し、支援する。 ・事業承継マッチングサイトを活用し、市内小規模事業者等の事業承継を推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・事業承継推進委員会を開催し、事業承継における課題等の情報共有及び意見交換を行った。 ・事業承継関連融資に係る利子・保証料の補給を行った。(保証料補給3件、利子補給23件) ・事業承継のインターネットマッチングプラットフォームに事業の承継を検討している事業所を掲載し、マッチングに努めた。
評価等	・事業承継関連融資に係る助成制度を運用することで、市内事業者の円滑な事業承継に寄与した。 ・マッチングプラットフォームを活用することで、市内事業者の事業承継を支援した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・円滑な事業承継を支援するため、引き続き事業承継関連融資に利子・保証料補給制度を運用し、支援する。 ・事業承継マッチングサイトを活用し、市内小規模事業者等の事業承継を推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	9,980
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
9,980	9,980	9,980	1,600
		4,000	△ 1,000
9,980	9,980	5,980	2,600
査定額	説明		
9,500			
480			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・事業承継融資の利子・保証料補給に必要な経費を計上 ・事業承継マッチングサイトへの高山市特設ページ掲載に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査